

1 一般動詞 を活用する	(1)【現在形】~する	I/You/We/They <b>work</b> (働く)	ワア~アカ [wá:rk]	<b>do</b> +動詞の原形	
	※三単現のs→	He/She/It <b>works</b> (働く)	ワア~アカス [wá:rk_s]	<b>does</b> +動詞の原形	
	★《時・条件の副詞節》	When+sv「さかゝする時に」、If+sv「もしさかゝするなら」など			
	(2)【過去形】~した	規則変化(ed) He <b>worked</b> (働いた)	ワア~アカク [wá:rk_t]	<b>did</b> +動詞の原形	
	不規則変化 He <b>knew</b> (知っていた)	ニュー [nju:]			
	★【仮定法過去】	《今を仮想》If(もし) he <b>knew</b> [今]彼が知っていたら			
2 be (いる) を使う get (なる) を併用  ※現在形と過去形 の be 動詞の後に being を加えると 「その時限り」を強 調できる。 He is being kind.  ※know/love など状態動詞は 進行形にしない。	(3) be (いる) + 名詞・副詞・形容詞・前置詞句・不定詞 (to do)				
	【現在形】	I <b>am</b> [əm]	アム	いる、ある、である	
		He/She/It <b>is</b> [iz]	イズ		
	【過去形】	I/He/She/It <b>was</b> [wəz]	ワズ	ワア	いた、あった、だった
	★【仮定法過去】	I/he/she/it <b>were</b> [wə]	ワア	ワア	[今]~だったら
	be 動詞の 【現在完了形】 ⑥	I've <b>been</b> [aivbin]	アイヴビン	You've <b>been</b> [ju:vbin]	ユーヴビン
		He's <b>been</b> [hi:zbin]	ヒーズビン	We've <b>been</b> [wi:vbin]	ウィーヴビン
		She's <b>been</b> [ʃi:zbin]	シーズビン	They've <b>been</b> [ðei:vbin]	ゼイヴビン
		It's <b>been</b> [itsbin]	イツビン		
		縮約形 has → 's		縮約形 have → 've	
		②《経験》 居たことがある → 行ったことがある			
		③《状態の継続》 [ずっと] いる			
		⑦ [さっきまで] いたんだ			
		(4)【進行形】	<b>be ~ing</b>		※現在分詞は動詞の~ing
		①【その場で】~している	いる	~して	現在分詞①《進行》 [その場で] ~して...
	②【これから】~するんだ	んだ	~する	現在分詞②《未来》 [これから] ~する...	
	【現在進行形】	am/is/are ~ing		①《動作の進行》 [今その場で] ~している ②《予定確認》 ☆ぞんざい [これから] ~するんだ	
	【過去進行形】	was/were ~ing		《動作の進行》 [その時その場で] ~していた	
	【現在完了進行形】 ③⑥⑦	have been ~ing has been ~ing		⑥《動作の継続》 [ずっと] ~している ⑦《臨場感のある完了》 [さっきまで] ~していたんだ	
	【過去完了進行形】	had been ~ing		《動作の進行の継続》 [その時までずっと] ~していた	
	(5)【受動態】	<b>be 過去分詞</b>		過去分詞③《受動》 ~され [て] ...	
	③ ~される	る	~され	※過去分詞は規則動詞の~ed、不規則変化表3番目	
	~されている	いる	~されて		
	【現在形】の受動態	am/is/are 過去分詞		◆《動作》 ~される ●《状態》 ~されている	
	【過去形】の受動態	was/were 過去分詞		◆《動作》 ~された ●《状態》 ~されていた	
図【進行形の受動態】 進行形の be 動詞の 後に being を加え る。	【現在進行形】 の受動態	am/is/are being 過去分詞		①《進行》+受動 [今その場で] ~されている ②《予定》+受動 [これから] ~されるんだ	
	【過去進行形】 の受動態	was/were being 過去分詞		①《進行》+受動 [その時その場で] ~されていた	
図【完了形の受動態】 完了形の have の後 に been を加える。	【現在完了形】 の受動態	have been 過去分詞 has been 過去分詞		◆《動作の完了》 [すでに] ~されている ●《状態の継続》 [ずっと] ~されている	
	【過去完了形】 の受動態	had been 過去分詞		◆《動作の完了》 [すでに] ~されていた ●《状態の継続》 [ずっと] ~されていた	

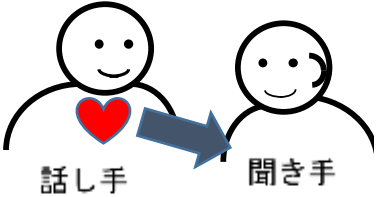
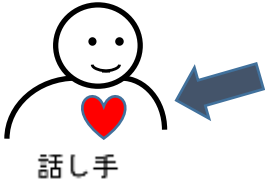
3	<b>(6)【完了形】</b>		<b>have 過去分詞</b>	過去分詞④《完了》[すでに]~して…
	have (いる)を使う be (いる)、 get (なる) を併用	④ [すでに]~している	いる [すでに]~して	①《動作の完了》 [すでに]~している
		[ずっと]~している	いる [ずっと]~して	②《経緯》 [今までに]~したことがある
	【現在完了形】 ①~⑤	I/You/We/They <b>have 過去分詞</b>		③《状態の継続》 [ずっと]~している
		He/She/It <b>has 過去分詞</b>		④《結果》 [今、ここで]~ちゃった、~してるんだ
	★《時・条件の副詞節》			[未来に][すでに]~しているなら
否定文	I/You/We/They <b>haven't 過去分詞</b>		①《未完了》not ~ yet [jēt] [まだ]~していない	
	He/She/It <b>hasn't 過去分詞</b>		⑤《動作の未遂の継続》 [ずっと]~していない	
【過去完了形】	<b>had 過去分詞</b>		《完了》 [その前に、[すでに]~していた	
	★【仮定法過去完了】《過去を仮想》If (もし)		[過去に]~していたら	
4	<b>(7)【命令文】~しなさい</b>			
	動詞の原形 を使う	肯定文	動詞の原形	~しなさい、~して
			Help me.	私を助けて
		※強調するときは Do+動詞の原形	Be 名詞・副詞・形容詞・前置詞句	~であれ、~いなさい
		Be careful. [kéərfəl]	気をつけて	
	否定文	Never/Don't 動詞の原形		~するな
		Don't do that.		そんなことするな
		Never mind.		決して気にするな
		Never/Don't be 名詞・副詞・形容詞・前置詞句		~いるな
		Don't be afraid. [ə'fráɪd]		怖が[っ]ているな
<b>(8)【助動詞】+動詞の原形 ※「未来表現」以外は裏面</b>				
will を用いた未来表現	will + 動詞の原形	①《その場での決意》有意志 [じゃあ]~しよう	②《推量》 [きっと]~するだろう	
【未来進行形】④	will be ~ing	①《動作の予測》無意志 [きっと]~しているだろう	②《予定確認》《申し出》☆丁寧 [これから]~します	
will の受動態 ⑤	will be 過去分詞	◆《動作》 ~されるだろう	●《状態》 ~されているだろう	
【未来完了形】⑥	will have 過去分詞	①《完了》有意志 [その時まで]~してしまおう	②《経緯》 [その時まで]~しているだろう	
【未来完了形】 の受動態 ⑤	will have been 過去分詞	③《状態の継続》 [ずっと]~しているだろう	《完了》 [その時まで]~されているだろう	
<b>(9)【助動詞の言い換え表現】(to+動詞の原形) ※「未来表現」以外は裏面</b>				
①	be to + 動詞の原形	《運命》	~することになる	
	★【仮定法過去】If S were to + 動詞の原形	《今を仮想》	もし[今後]Sが~することになったら	
②	be going to + 動詞の原形	①《心づもり》有意志	~するつもりだ	
	am/is/are going to + 動詞の原形	②《目に見える予兆》	[ゆくゆく]~しそうだ	
	You're not going to + 動詞の原形	③《禁止の命令》	~しないよね	
③	be about to + 動詞の原形	《臨場感ある予定》	~するところだ	
	am/is/are about to + 動詞の原形			
④	be supposed to + 動詞の原形	《想定》	[想定されて]~することになっている	
	am/is/are supposed to + 動詞の原形			

過去形は  
《未完》をあらわす

## (8) 【助動詞】+動詞の原形

① 聞き手へ働きかける助動詞(外向き)「できる」「してよい」「しなければならない」「すべきだ」

② 話し手が判断する助動詞(内向き)「ありえない」「かもしれない」「ちがいない」「当然だ」

※分類は Quirk を参考		①聞き手へ働きかける助動詞		②話し手が判断する助動詞	
①現在時制(対話の場) ※過去の出来事に対する判断は 助動詞+have 過去分詞を用いる		 話し手      聞き手		 話し手	
1) 助動詞の現在形		①(過去形より)ぞんざいな言い方 ②(過去形より)確信度高め			
can	キャアン [kæən]	できる	→許可	ありうる	♡可能性
cannot	キャアンノオトリ [kæənnát]	できない	→禁止	はずがない	♡疑い
can't	キャアントリ [kæənt]	できない		はずがない	
may	メイ [méi]	てもよい	→許可	かもしれない	♡推量
may not	メイ ノオトリ [méi nát]	てはいけない	→禁止	ないかもしれない	
must	マストリ [məst]	なければならない	→義務	にちがいない	♡確信
mustn't	マストントリ [məsnt]	てはいけない	→禁止		
need n't	ニードラントリ [ni:d nt]	必要はない	→不必要		
will	ウィル [wíl]	(じゃあ)~しよう、(きっと)~する	→意志	だろう	♡推量
won't	ウオウントリ [wóunt]	(決して)~しない		ないだろう	
shall	シャル [ʃəl]	Shall I/we? ~しましょうか (他者に)~させよう	→提案	(今後)~になる	♡必然
shan't	シャアントリ [ʃá:nt]	~させない			
2) 助動詞の過去形		①(現在形より)丁寧な言い方 ②(現在形より)可能性・実現度低い			
would	ウウトリ [wəd]	する(のに…)	→意志	だろう	♡推量
would n't	ウウドントリ [wúdn't]	しない、しようしない		ないだろう	
could	クウトリ [kəd]	(やろうとすれば)~できる	→可能	ありうる	♡可能性
couldn't	クウドントリ [kúdn't]	(やろうとしても)~できない	→不可能	ありえない	
might	マイトリ [maít]	てよい	→許可	かもしれない	♡推量
might not	マイトリ ノオトリ [maít nát]	てはいけない	→禁止	ないかもしれない	
should	シドリ [ʃəd]	すべきだ	→助言・非難	~のが当然だ	♡当然
shouldn't	シドントリ [ʃúdn't]	すべきではない		~ないのが当然だ	
※ should have 過去分詞 《非難》「~していて当然だ」、《残念》「~すればよかったのに」					
物語(②)から説明(①)へ I used to ~, but now I don't. 「かつては)~したもののだが、今はしていない。					
②過去時制(物語・語り) 時制の一致の観点で、助動詞の過去形(would/could/might/should)を使う。					
used to ~	ユースト トリ [jú:st tə]	〈動作〉「(かつては)~したものだ」		〈状態〉「(かつては)~あった」	
would often ~	ウウトリ オーフン [wəd ɔ:fən]	〈過去に繰り返した動作〉「よく~したものだ」		※状態動詞は不可	

(9) 【助動詞の言い換え表現】(to+動詞の原形)

	①《主観的判断》 助動詞を使うと… 話し手が決めているように聞こえる	②《客観的事実》 助動詞の言い換え表現を使うと… 話し手と関係なく決まっているかのように聞こえる
《義務》	You <b>must</b> wear glasses. あなたはメガネをかけなくてはならない。	Natsuki <b>has to</b> wear a school uniform. 奈津紀は制服を着ることになっている。
《禁止》	You <b>can't</b> park here. ここに駐車してはいけません。	You <b>aren't allowed to</b> park here. ここに駐車するのは許されていない。
① 現在時制(対話の場合)で助動詞を使う		be/have+ (形・分詞) +不定詞 (to+動詞の原形)
《義務》	<b>must</b> 「～しなくてはならない」 ※ will と must は同時に使えない	<b>have to</b> ~, <b>has to</b> ~ 「～することになっている」 <b>'ve got to</b> ~, <b>'s got to</b> ~ 「～しなくっちゃ」 <b>will have to</b> ~ 《本意》 「～することになるだろう」
《能力》	<b>can</b> 「～できる」 ※ will と can は同時に使えない	<b>am/is/are able to</b> ~ 「～することができる」 <b>will be able to</b> ~ 「～できるだろう」
《許可》	<b>can</b> 「～できる」	<b>am/is/are allowed to</b> ~ 「許されている」
《当然》	<b>should</b> 「～すべきだ」「当然だ」	<b>ought to</b> ~ 「～すべきだ」「当然だ」
② 過去時制(物語・語り)で助動詞を使う		
《完遂》	※「(実際に)～することができた」の意味で <b>could</b> は使えない。 素直に【過去形】「～した」を使うか、右の3通りを使う。	<b>was/were able to</b> ~ 「～することができた」 <b>managed to</b> ~ 「(どうにか)～することができた」 <b>succeeded in</b> ~ing 「～することに成功した」
《本意》	※過去時制で <b>must</b> は使えない。	<b>had to</b> ~ 《本意》 「～することになった」「しなくてはならなかった」

【動詞の原形】①～③

大事なルールです!  
助動詞+動詞の原形

動詞の原形は、① 動詞I語 (use など) ② be ③ have 。②③は1～2語(～ing、過去分詞)がつながる。

①	助動詞 動詞I語	can use	[人が]使うことができる	能動
②	助動詞 be 過去分詞	can be used	[物が]使われることができる	受動
②	助動詞 be+【形容詞】	must be sick	病気であるにちがいない	
②	助動詞 be ~ing (現在分詞)	may be eating	[人が]食べているかもしれない	進行
		might be coming soon	[人が]もうすぐ来るかもしれない	未来
①	助動詞 動詞の原形(I語)	should come	[人が][今・これから]来るべきだ	今後を助言
③	助動詞 have 過去分詞	should have come	[人が][過去に]来ていて当然だ	過去を非難
		当然→ [すでに]来ているはずだ	[人が][過去に]来れば良かったのに	過去を残念
③	助動詞 have 過去分詞	may have used	[人が]使っ[てい]たかもしれない	過去+能動
	助動詞 have been 過去分詞	may have been used	[物が]使われ[てい]たかもしれない	過去+受動